

## ご参列の皆様へ

### ～慰霊祭の趣旨～

先の大戦のなか、タイ・ミャンマーで亡くなられた日タイの戦没者にご冥福のお祈りを捧げ、平和と繁栄を迎えられた今日を振り返るとともに後世を任された者としてその責任を再認識し平和を誓う。

### ～主催に関して～

この慰霊祭は、チェンマイ在住の日本人有志で結成した実行委員会が準備を致しました。この地に眠る同胞の戦没者慰霊は、時を後にして同じ地に暮らす私たち自身が行わねばならないという想いを発露に、チェンマイの日本人を代表する気持ちで活動して参りました。しかし、私たち有志が皆様に替わって場の準備を行ったまでに過ぎず、慰霊祭はお集り頂いた皆様とご一緒に作り上げて行くものだと考えています。

慰霊碑に向かったの黙禱も、本来ならば北タイからミャンマー国境にかけて数多く点在するすべての慰霊碑で行いたいところですが、現在挙行が叶うのは、市内ではムーンサーン寺院と市郊外南に位置するバーンガート・ウイタヤーコム中高校の二ヶ所のみです。この二会場からすべての慰霊碑とこの地に眠る英霊にお祈りを捧げさせていただきます。

### ～ご寄付に関して～

志納箱に収めて頂くご寄付は、慰霊碑に捧げる供花・供物、準備から挙行までの経費、そして慰霊碑を日々管理して頂いている寺院と団体への寄付に遣わせて頂きます。ご寄付は失礼ながら、おひと口100パーツ以上をお願い致します。ご寄付の用途明細は、慰霊祭終了後に下記WEBサイトに掲載し、収支報告に替えさせていただきます。

※この場をお借りしてお伝えしたいのは、常日頃より慰霊碑を管理して頂いているタイの人たちの存在です。ムーンサーン寺院では僧侶と檀家の皆様であり、バーンガートでは団体のタイ人職員が慰霊碑清掃を担ってくれています。本日の会場設営ひとつでも、準備が首尾よく進められる背景には、いつもタイの方々のお力添えがあります。

### ～式次第に関して～

ムーンサーン寺院では、タイ式の供養も取り入れるとともに、慰霊碑管理への感謝・御礼の意も込めて、お布施（タンブン）の場をご用意させて頂いています。式進行の一部にて、日本で同時刻に挙行する全国戦没追悼式の音声をお聞き頂きます。戦没者へのご冥福を日本と同時進行でお祈りさせていただきます。

バーンガートでは、「タイ・ビルマ方面戦病死者追悼の碑」とその横に「此の地に壱万八千名の勇士眠る」の碑があります。また、同敷地内に昭和天皇の御詠が刻まれた大梵鐘をいただく鐘楼があり、式典終了後、大梵鐘をご自身の手で鳴らし追悼して頂きます。

平成 25 年 8 月 15 日

主催 チェンマイ戦没者慰霊祭合同実行委員会  
<http://chiangmai-memorial.jimdo.com/>